

ISO14001 EMS(環境マネジメントシステム)運用自己適合宣言

このたび、東京硝子器械㈱は国際標準規格である「ISO14001」環境マネジメントシステムの適合について第三者機関による認証を受けることなく自己決定し、自己宣言するに至りました。

ISO14001 自己適合宣言

東京硝子器械株式会社は当社の環境マネジメントシステムがISO14001国際規格に適合していることを、自らの責任を持って自己決定し、宣言します。
今後は、「環境方針書」にもある「もったいない」の気持ちを大切に地球環境保全に努め科学技術の発展に貢献してまいります。

これまでの経緯:

- 2008年4月: 社団法人産業環境管理協会のコンサルティングにより「日科連 EMSマニュアル」による運用をスタートしました。
2010年3月: ISO14001第三者認証を取得しました(ER-00152)。
適用範囲/本社

第三者機関による「認証」返上、自己適合宣言の理由

(1)実績

「日科連 EMSマニュアル」運用、第三者認証取得過程において当社の環境側面を抽出し下記の継続的改善管理の方策を定めることができました。

- ★産業廃棄物の適正処理、管理、報告
- ★カタログ回収・リサイクル実施、その後の継続運用
- ★省エネルギー、生産性向上、経費節減、危機管理を目的としたクラウド・コンピューティング・システムへの移行
- ★エコ商品販売強化
- ★省資源、省エネルギーの日常管理体制

(2)マネジメントの筋肉質化

弊社の環境側面を考慮した場合、卸専門の弊社にはISO14001規格のすべての要求事項に対応する必要はないと判断しました。

必須規格を構築・運用・改善していくことがマネジメントの本筋と信じています。

また、第三者外部機関による認証に伴う審査費用、規格が要求する審査用書類作成に要するエネルギー、等々を最小化することにより、マネジメントシステムをより効率的なものにできると信じています。

(3)公正性、適合性の開示

今後も当社ホームページにおいてISO14001自己適合の状況を公開します。

- ★環境方針
- ★推奨エコ商品

新たに下記も追加公開します:

- ★カタログ回収実績
- ★産業廃棄物管理状況

2012年7月2日

東京硝子器械株式会社
代表取締役社長 白井義則